

『2021年度入試情報・私立も変わる』

新入試について、各大学の予告が出始めました。

国立大学を中心とした全体的な傾向は、

- (1) 共通テストでは外部検定を使用
- (2) 共通テストでは記述式を利用
- (3) 教科・科目の変更は現段階では少数派
- (4) 学校推薦型・総合型を新規実施、「共通テスト課す」増、選抜方法は多面的に
- (5) 主体性の評価は「調査書等」が中心

以下、首都大学東京と早稲田大学から公表された内容を一部紹介します。学部学科によっても異なりますので詳細はそれぞれのホームページや要項で確認してください。

Web出願時に、「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入

・学校が作成する調査書に記載するのではなく、受験生本人が自分自身の経験を振り返り、文章化してもらいます。記入は出願要件としますが、得点化はしません。

・併願学部が複数あったとしても1回記入すれば全ての学部にも適用します。

・記入した内容は、学生調査データの一部として、入学後の学部での教育の参考資料として活用します。

・詳細については2019年度初頭を目途に公表します。 早稲田大学政治経済学部

【一般選抜の重要なポイント 首都大学東京】

全体

- ◎全学部・学科において後期日程を実施
- ◎調査書等を合否判定に活用

大学入学共通テスト

- ◎マーク式問題と記述式問題の併用
- ◎大学入学共通テストの英語と資格・検定試験を併用

個別学力検査

- ◎資格・検定試験の導入に伴い、個別学力検査の英語を廃止
- ◎「思考力・判断力・表現力」を測るべく、個別学力検査では記述式問題を重視

【一般選抜の内容 早稲田大学政治経済学部】

- (1) 大学入学共通テスト(科目25点、合計100点)
 - ①外国語②国語③数学I・A④選択科目(次のいずれか1つを選択。地理歴史、公民、数学、理科)
- (2) 英語外部検定試験及び学部独自試験(100点)
 - ・使用できる英語外部検定試験は、大学入学共通テストで活用される試験を前提として検討中。
 - ・英語外部検定試験の配点割合は(2)の3割程度(全体の15%程度)とする予定。
 - ・外部独自試験は、日英両言語による長文を読み解いた上で解答する形式とし、記述解答を含む。

H30.11月 CEES 大学入試改革シンポジウムより

Do not pray for easy lives. Pray to be stronger men.

楽な人生を願い求めるな。より強い人間になれるように願いなさい。

John F. Kennedy (ジョン・F・ケネディ) (米国第35代大統領 1917～1963)

